

清掃支部第60回定期大会

活動方針・予算案 満場一致で原案可決

2020年10月3日(土) 9時より、市労連会館5階講堂において、代議員総数51名中49名が出席する中、第60回清掃支部定期大会が開催された。活動方針案及び予算案について代議員満場一致で支部原案が可決された。

大会議長には多摩分会・佐藤代議員、堤根分会・内山代議員が選出され、就任の挨拶が行われた。

来賓には市職労本部より萩原委員長・現業評議会より大野議長が出席。また、NPO法人在日外国人教育生活相談センター信愛塾、かながわみんとうれん、横浜清掃労働組合、東京清掃労働組合、相模原市職労、川崎市職労給食支部より祝電メッセージをいただいた。



目録

川崎市職員労働組合
清掃支部
発行
川崎市川崎区東田町7-2
東田ビル2階

電話 044(222)5906
発行責任者 渋谷 勝美
編集責任者 稲葉 拓也

清掃支部ホームページ
QRコード

議長就任挨拶

本日の大会は新たな執行部になり、一年を経過した大切な大会となります。本日も参加をいたします。代議員の皆さまをはじめ、支部執行部及び支部中央委員並びに傍聴者にお断りをいたします。しっかりとした議論で大会に参加していただき2019年度の経過及び2020年度の方針を確認していただきたいと思います。

支部長挨拶

本大会にご参加の皆様、お越し頂きありがとうございます。この1年間、様々な事がありました。台風19号に伴う災害対応、新型コロナウイルスによる組合活動の自粛、ヘイトクライム加害者の逮捕、死亡退職に伴う欠員、そして今後予定されている普通ごみの収集業務委託。そのような情勢の中で生じた様々な課題に対して当局と交渉してまいりました。これからの1年間、市職労本部への支部室移転を控え、年明け早々には新しい体制を考える時期にまいります。何卒、皆様のご協力の下、支部運営に当たりたいと考えておりますので宜しくお願いいたします。

議長降壇

すべての議事が終了し、大会役員の解任、議長団の解任が行われ、議長が降壇する際には感謝の言葉が述べられた。

議長降壇にあたり一言

議長団、大変、不慣れたため、皆様には多々ご迷惑をかけたと思いますが、無事に大会が終了できましたことに感謝をいたします。

前任の支部長から「危機的な事態を清掃支部組合員の全ての人が一緒にゼロから考えることが必要であり、組織の在り方を考え直す時期。」とのことから、新執行部に代わって一年が経ちました。この一年の総括を本日参加の代議員から受け、そして、2020年度の方針が確認をされました。私たち、清掃支部組合員913人は、この新たな組織を成熟させて

最後に

いく責務があるとともに2020年度の方針をしつかりと取り組んでいくことが求められています。

最後に、長時間にわたり、皆様のご協力に対し感謝を申し上げます。

最後に支部長の団結ガンパロウを予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため大声を出すことをやめ、支部長の締めめの挨拶にて大会は終了し、2020年度の活動がスタートした。

団結ガンパロウに代わる

支部長の言葉

定期大会お疲れ様でした。冒頭もお話しましたとおり、次年度、中型コンテナ車の委託が始まります。委託化される中で人員をどう残していくか、どのような

団結

がんばろう！

形で新しい職域を作っていくか、フルタイム再任用職員の職域をどうするのか、欠員補充をどうするのかなど課題が山積しております。皆様と一緒に取組みながら解決策を見つけないかと考えております。

次年度は役員選挙もあります。職を守り、組合員である皆様を守ることが重要と考えておりますのでご助力のほど宜しくお願いします。本日はありがとうございます。

2020年度 闘争資金積立金特別会計予算

収入の部

科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増△減	備 考
積立金	1,867,200	2,143,200		778人×200円×12ヶ月
雑収入	3,000	3,000	0	預金利子
繰越金	103,451,829	101,530,583		
合計	105,322,029	103,676,783	1,645,246	

支出の部

科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増△減	備 考
補 償 費	60,000,000	60,000,000	0	
補償費	60,000,000	60,000,000	0	賃金カット分などの補償
需 要 費	100,000	100,000	0	
消耗品費	100,000	100,000	0	事務用品等
印刷費	0	0	0	印刷機及び印刷に係る費用
通信運搬費	0	0	0	電話料、郵便物等
運営費	0	0	0	支部室に係る費用等
会 議 費	3,500,000	3,500,000	0	
委員会費	1,500,000	1,500,000	0	部門別小委員会の会場費等
諸会議費	2,000,000	2,000,000	0	各種集会などの会場費等
闘 争 費	22,000,000	22,000,000	0	
広報費	7,000,000	7,000,000	0	市民向け広報等
調査費	5,000,000	5,000,000	0	課題別調査料
交通費	10,000,000	10,000,000	0	諸会議、集会等の交通費
職 場 闘 争 助 成 費	10,000,000	10,000,000	0	
職場闘争助成費	10,000,000	10,000,000	0	職場闘争への助成
諸 費	6,000,000	6,000,000	0	
渉外費	3,000,000	3,000,000	0	民間労組、市民団体への要請等
雑費	3,000,000	3,000,000	0	
予 備 費	3,722,029	2,076,783	1,645,246	
予備費	3,722,029	2,076,783	1,645,246	
合 計	105,322,029	103,676,783	1,645,246	

来賓挨拶

市職労本部(萩原委員長)

まず、市職労中央執行委員に寺内さんを送り出して頂いておりますこと感謝申し上げます。新型コロナによりこれまでのような組合活動がやりにくい状況になり、組合は何をやっているのかわからないというお声をたくさん本部に頂きました。そんな中、支部運営をこなされてきた清掃支部の皆様には本当に感謝しております。

月例給や一時金の勧告は見通しが明るくない現状でございます。私たちの給与は市議会の給与条例の決定で決まります。議会や国会

という自分達の仕事や暮らしに直接の関係があまりなさそうに思えますが、公務員の仕事のほとんどは法律で決まっていますし、実は密接な関係にあります。今、川崎市議会には3人の組織内議員がいます。公務員の風当たりが強くなる情勢の中ではこの協力関係を維持することが重要と考えています。

清掃支部組合の方が被害者となったヘイトクライムでは、一部の事件について犯人が逮捕され、今月、裁判が始まります。市職労の大会で申し上げましたが、四半世紀にわたり続いているヘイトクライムについて私たち自身がどう受け止めるかが重要と考えております。市職労本部としては、清掃支部がこれまで行ってきた取組みを学びながら新たな一歩を刻んでいきたいと思っております。川崎市は差別のない人権尊重のまちづくり条例を7月に全面施行しました。市域全体に差

現業評議会(大野議長)

別のないまちを広げるという考えを単なるスローガンにしないために私たち労働組合ができることは、職場内で働く仲間同士が傷付き合うことを抑止することだと考えます。後半の1年、市職労本部は働く人の生きがいや働きがいを損ねないような組合活動に努めていきたいと思っております。

最後に、清掃支部の組合活動のあり方、苦しい時こそ隣の人と手を取り合い、力を分かち合うという労働組合の良いところをこれからも引き継いでいただき、市職労本部にもお力添えをお願いして挨拶いたします。

清掃支部におかれましては、

市職労現評幹事に長安さん、玉川さん、現業評議会の要である事務局長に福澤さんを選任していただき、感謝を申し上げます。清掃支部に関わる課題として欠員の課題があります。大変きびしい状況ですが、前倒し採用を求めています。しかし採用が早くても12月では現場がもたないことも認識しております。欠員が発生してきたときにどのような対応をしていくのか、今後協議を進めていきたいと考えています。

また、新規採用についても在り方議論について今後、進めていき、業務職の採用をなんとしても実施させたいと考えています。そのためには、清掃支部の大きな力が必要だと考えており、全ての職場に新規採用職員が配置されるような取組みを進めていくために、清掃支部の更なる現業評議会の結集をお願いして、挨拶とさせていただきます。

一般経過報告

一般経過報告が村越書記次長から行われ、「昨年10月、台風19号により川崎市が甚大な被害を受け、災害対応を行いました。対応に当たっては残業や週休出勤など組合員のご協力のもと乗り越える事ができました。その後、新型コロナウィルスという新たな形で災害が発生したことで、組合活動については一部活動を自粛して新たな形での取組みがはじまり、業務ではBCP発動に伴う時差出勤や在宅勤務など感染予防を図りながら対応に当たってまいりました。コロナ禍においても業務を継続している私たち

会計決算報告

2019年度会計決算報告が小澤財政部長、会計監査報告が羽生監査委員と吉田監査委員により行われ、代議員の拍手多数で承認された。

に、市民から感謝と励ましのメッセージを頂き、私たちと市民の距離がより近づいたと感じています。清掃支部としては、コロナは未だ収束が見えない状況でございますが今後も様々な課題に対して継続した取り組みを行ってまいります。皆様のご協力をお願いして経過の報告とさせていただきます。」と経過報告を終えた。

議案提起

第1号議案「2020年度運動方針(案)」が岩崎副支部長から、第2号議案「2020年度一般会計予算(案)、2020年度闘争資金積立金特別会計予算(案)」が小澤財政部長からそれぞれ提起された。

第1号議案

「2020年度運動方針」

事前に運動方針案をお配りしておりますので、ここでは簡潔な提起とさせていただきます。

まず、この1年を振り返って、この間の清掃支部組合員に対するヘイトクライムについては川崎市の元職員が逮捕されました。清掃支部ではこの間、人権課題の取組みとして環境局廃棄物関係職員研修検討委員会ワーキンググループで人権研修等のあり方について当局と協議させて頂きました。川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例にもあるように不当な差別の解消が責務であり、私たちが差別的な声を上げる発信者となることで人権課題に関する取組みを進めていかなければなりません。あらゆる差別をなくすために人権感覚を養えるよう取組んで参ります。

昨年の台風19号に伴う災

第2号議案

「2020年度予算」

害対応については、収集部門は生活環境事業所間での応援を行い、処理部門では橋処理センター建設現場や等々力緑地の災害ごみ仮置き場で分別作業や搬出対応を行ってまいりました。次に私たちが取り巻く情勢について、廃棄物行政は1日もかかすことのできない業務です。市民サービスの向上と市民生活を守ることを基本に直営を堅持し、現業職員を削減させない政策提起を行い、組合員1人が廃棄物行政を担っているという自覚を持たせる取組みを行う必要があります。そして、たたかひの目標と進め方について、直営強化のたたかひでは昨今勃発している災害対応について、直営だからできる利点を生かし、率先して対応することが重要です。政府はこのことをおろそかにして、住民のニーズに反し、災害発生時に必要な人員と機材を削減しようとしている

ます。清掃支部は断固として直営堅持を基本とし、直営だからこそできる柔軟な体制構築を追求しながら、住民の安心・安全な生活環境を守るという視点を忘れずに、質の高い公共サービスを当局へ提案してまいります。最後に働き方改革について、川崎市働き方改革・仕事の進め方推進プログラムに取組むにあたり、何のための改革かという視点で、清掃支部では身体的負担の大きい職場もあることから、フルタイム再任用職員の配置について配慮が必要であると考えております。正しい働き方改革実現に向けて当局と折衝を重ねて参ります。

2020年度一般会計予算

収入の部

科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減		備考
支部費	32,465,280	33,787,548	△ 1,322,268	-3.91%	年代別×914人×12ヶ月(2,960円/AV)
本部助成金	6,087,240	6,073,920	13,320	0.22%	914人×555円×12ヵ月
雑収入	2,500,000	2,000,000	500,000	25.00%	利息・特別助成金等
繰越金	36,626,688	25,347,062	11,279,626	44.50%	
闘争資金繰入金	0	0	0	0.00%	
合計	77,679,208	67,208,530	10,470,678	15.58%	

支出の部

科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減		備考
需要費	11,750,000	14,700,000	△ 2,950,000		
消耗品費	150,000	200,000	△ 50,000		事務用品・紙・インク等
印刷費	3,000,000	4,000,000	△ 1,000,000		
交際費	100,000	1,000,000	△ 900,000		他都市・他支部交流費等
支部室運営費	7,500,000	7,500,000			支部室運営・支部室移転費用等
備品図書購入費	1,000,000	2,000,000	△ 1,000,000		各種備品・書籍購読料等
会議費	300,000	300,000			
大会費	100,000	100,000			第60回定期大会諸費用等
執行委員会費	50,000	50,000			交渉団会議・執行委員会等
諸会議費	150,000	150,000			会館利用料・中央委員会等
活動費	11,100,000	15,300,000	△ 4,200,000		
交通費	3,000,000	3,000,000			各種会議交通費・出張行動費等
各種活動費	7,000,000	10,000,000	△ 3,000,000		旗開き・労働講座・集会・学習会等
調査費	100,000	300,000	△ 200,000		他都市調査費等
専門部費	1,000,000	2,000,000	△ 1,000,000		部会・学習会参加費等
助成金	7,000,000	5,600,000	1,400,000		
助成金	7,000,000	5,600,000	1,400,000		分会還付金・特別助成金
大都市清掃部会	300,000	300,000			
大都市清掃部会	300,000	300,000			幹事会・諸会議費等
諸費	2,550,000	1,550,000	1,000,000		
渉外費	1,500,000	1,000,000	500,000		弁護士顧問料等
年会費	200,000	200,000			共闘団体年会費等
役員選挙費	500,000	0	500,000		
慶弔費	300,000	300,000			分会定期大会祝金・香典等
雑支出	50,000	50,000			
予備費	44,679,208	29,458,530	15,220,678		
予備費	44,679,208	29,458,530	15,220,678		
合計	77,679,208	67,208,530	10,470,678		

質疑答弁

4名の代議員から質問が出され、それぞれの質問に対して執行部答弁が行われた。

「質問」

椎野代議員（入江崎）

支部室運営費について750万円となっておりますが、この費用の中には書記雇用費も含まれているのでしょうか。

次に、支部室移転に伴い、今後支部室運営費は安くなってくるのでしょうか。また、今後の支部室の移転スケジュールについて教えてください。

「答弁」

小澤財政部長（執行部）

支部室運営費は書記雇用費を含んでいます。支部室運営費で400万円、書記雇用費で350万円を一つにまとめています。

次に支部室運営費についてですが、今後本部に移転するため、費用はかなり安くなると想定しています。が、予算案作成時は、外部に借りることも想定されていたため、昨年同等としています。支部室移転については、定期大会終了後、市職労本部への移転作業を開始し、10月24日位には完全に移転する予定で動いています。

「質問」

鈴木代議員（王禅寺）

しております。

質疑の中であったような状態は非常に残念なことであり、そのような事態を回避するためには、職長にはもちろんのこと、管理職を含め、職員全員に対しても職長制度を正しく理解してもらい、ひいては職場全体のスキルアップが求められていると思えます。そのためには、これまで行ってきた職長研修の充実及び管理職や一般職員にも職長制度を正しく理解してもらおうための研修も必要になってくると考えています。

役員選考

役員選考委員会より会計監査役員が報告され会計監査役員として新たに田中慎吾さん（多摩）が選出された。また、羽生信一さん（臨港）については留任が確認された。

要だと考えております。

職員の高齢化及び人材育成についてですが、新規採用職員を増やし、全体の年齢構成の適正化をしていくことが大変重要であると考えています。そのために、技能・業務職員の新規採用試験の資格要件である、大型自動車及び大型特殊の資格要件を撤廃し、業務職員を新規採用できるようにすることが必要であり、川崎市全体の現業職の課題だととらえ、今後も当局と議論し、本部や現業評議会と連携し取組を進めていきます。

「質問」

岩瀬代議員（中原）

まず長期療養者の件ですが、全ての職場の課題と考えています。余力のない中で対応を行っていくことは組合員一人ひとりに多くの負担を強いられることも認識しております。各職場に様々な事象に対応できる人員を配置していくことが大変重

で対応していますが、職場環境としては過酷な状況です。欠員補充を局に訴えていく必要があると考えますが、支部の考えを教えてください。

「答弁」

岩崎副支部長（執行部）

今、現在、欠員については、他の分会でも生じているところですが、現時点での欠員補充は大変厳しい状況ですが、局に現状を訴えていくことが必要であると認識しています。また、対策として、新規採用試験を早めて10月採用ができないかというところも含めて、今後も粘り強く局と協議をしていき、強く訴えていきます。

大会宣言・大会スローガン

大会宣言を生方ユニース部長、大会スローガンを内山議長が読み上げ、会場全体の拍手で確認された。

第60回清掃支部定期大会スローガン

安易で一方向的な合理化を許さず、脱炭素に向けた街づくりと安全で安心な質の高い市民サービスの提供と働きやすい労働環境を確立しよう！

- 1, 人権に対する認識を深め、あらゆる差別を「しない、させない、許さない、見逃さない」をもとに、人に寄り添い、共に考えられる労働者をめざそう！
- 2, 「年金と雇用の接続」を確実なものとするため、高齢層の組合員が退職まで安心して働ける労働環境・労働条件を構築しよう。
- 3, 大きく変化する社会状況のなか、現場から廃棄物行政を考え、より良い市民サービスが行える収集―運搬―処理―処分体制を組合員一人ひとりが職場から作り上げよう！
- 4, 「車両事故・公務災害」ゼロを目指すため、職場での安全衛生活動を活性化しよう！
- 5, 2020 現業統一要求実現に向け、職場での課題と組合員の声をしっかりと伝えよう！
- 6, 2021 春闘勝利に向けて地域の民間労働者と共に春闘を盛り上げ、生活の向上と労働条件改善のためのたたかいを強化しよう！
- 7, 安易で右傾化に向けた憲法改悪に断固反対し、戦争放棄と軍備の否認を堅持する強固な反戦平和運動を展開しよう！
- 8, 東日本・熊本・西日本・南房総の災害支援の教訓と、廃棄物行政に携わる者としての責任と危機管理意識を持ち市民と「安全・安心・信頼」を共有できるネットワークを構築しよう！
- 9, 若年層組合員が集い、若年層であるが故の自由な発想を用いて、活発な議論を交わしながら力を合わせ活動できる場を確立しよう！
- 10, 「直営堅持」を基本に現業労働者の権利確立、労働条件改善に向けた取り組みを強化していこう！

「質問」

岸代議員（多摩）

職長制度についてですが、管理職を含め職員全体の中で職長という職に関する考え方について温度差があるように考えており、このままでは職場内で差別と分断が発生しかねない状態です。職長制度についてどのように考えているのか教えてください。

「答弁」

岩崎副支部長（執行部）

支部の認識ですが、最初は2007年の給与制度改革が行われるとき、4級在級の職員に給与制度改革が行われるときに、4級在級の職員に給与面での不利益を少しでも回避するために当局と合意してきたと認識